

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

クリニカルクラークシップトレーニングにおけるシミュレーション学修の効果

1. 研究の対象および研究対象期間

対象は、本学医学部の4年次～5年次(5-6名/3-4週単位実習期間)：およそ70名です（全員成人）。当科で行われているシミュレーション学修を受講した学生に対し、学修意欲等に対する影響をアンケート調査しており、また、教育業務のために成績をつける目的でOSCE形式の評価をしています。

そのアンケート調査の結果やOSCE形式のスコアを評価し、シミュレーション学修が与える影響を検討します。本研究は、2023年11月から2024年11月の期間で、昭和大学医学部呼吸器・アレルギー内科学でCCTを行った本学医学部の4・5年生の学生を対象に行います。

取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

2. 研究目的・方法

背景・目的：クリニカルクラークシップトレーニングでは、学生は指導医の指導・監視の下で一定の範囲内の医行為を修練します。医行為の中には侵襲を有する手技も含まれ、安全な医療を提供するためには医学部生の診療技術の向上が急務であると考えられます。限られた実習時間の中で安全かつ集中的に診療技術を向上させるためには模擬患者やシミュレーターを利用して反復的に修練することが有用なのではないかと考え、シミュレーション学修を通じて、医学部生が主体的に学ぶこと、分からないことを補完しながら協同して学ぶ環境を創造することを目的としました。

方法：CCTで実習中の医学部生を対象としてシミュレーション学修が医学部生に与える学修意欲に対する影響についてのアンケート調査や、教育業務のために成績をつける目的で行っているOSCE形式の評価を後ろ向きに調査し、その影響を検討しました。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示又はホームページによるオプトアウトを行います。研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開し、診療情報の利用について適切な拒否機会を設けております。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年11月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

担当教員が記載する内容も含めたポートフォリオ内の情報（年齢、性別）アンケート調査内容、OSCE 形式の評価のスコア

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

6. 研究組織

研究責任者 医学部内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門 眞鍋 亮

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科 眞鍋亮（内線 8532 PHS3489）

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門 氏名：眞鍋 亮

住所：東京都品川区旗の台 1-5-9 電話番号：03-3784-8532

研究責任者：昭和大学医学部内科学講座

呼吸器・アレルギー内科 助教 眞鍋 亮